



市民と野党の統一候補

由希子

ながせ

政治の一番の仕事は、なにより、国民の命を守ることはないでしょうか。

「原則自宅療養」：政府のコロナ対応に、「もう政治を変えないと、いのちもくらしも守れない」の声が広がっています。

私はこの思いにこたえ、政権交代で新しい政治をきりひらきます。誰もが自分らしく生きられる社会へ、ご一緒に力をあわせましょう。

コロナ対策の抜本的強化を

- ① ワクチンと一体に、「いつでも、だれでも、無料で」大規模PCR検査
- ② 医療機関の減収補てんと財政支援、医療従事者の待遇改善、保健所体制の強化
- ③ 一人10万円の「暮らし応援給付金」
中小企業、個人事業主、フリーランスに
持続化給付金・家賃支援給付金を再支給

新自由主義を克服し、くらしを支える

お金の心配なく学び、子育てできる社会をめざします。中小企業、農林業を支援、地域経済をたて直します。命とくらし最優先の政治を実現します。

気候危機打開へ

長野県も2019年に「気候非常事態宣言」を出しました。
省エネと再エネを組み合わせ、社会システムを大改革し、原発ゼロで、2030年までにCO₂の最大60%削減をめざします。

ジェンダー平等の社会へ

長野県の管理職に占める女性の割合は、47都道府県で最下位。多様性を大切に「だれもが自分らしく生きられる社会」をめざし、選択的夫婦別姓の実現、男女の賃金格差の解消など、ジェンダー平等の日本をめざします。

憲法9条生かした平和外交

長野県でも米軍機などの低空飛行は昨年だけで361回におよびます。
「アメリカいいなり」からぬけだし、安保法制の廃止など立憲主義を回復します。
核兵器禁止条約に参加する新しい政府をつくりましょう。

選挙に行こう!! 政権交代で、いのちを守る政治へ

党派をこえた共同で女性を国会へ

- 1 医療、介護、障害福祉、保育の充実
- 2 時給1,500円以上、正規雇用を
- 3 消費税の5%への引き下げ

プロフィール 1968年8月6日生。東京都大田区出身。信州大学教育学部卒。「赤旗」記者。現在、日本共産党中央委員、党長野県委員会書記長。岡谷市在住。趣味は、まち歩き。

なにより、いのち
ぶれずにくらしめく

比例代表は

日本共産党へ